



「新年度を迎えて」

神河中学校PTA会長 長井 克宏

平成31年度神河中学校PTA会長を務めさせていただきます、長井克宏です。平素はPTA活動にご理解、ご協力を頂き有難うございます、役員一同、子供達が伸び伸びと又、安心・安全に学校生活を送れるように一年間PTA活動に取り組みたいと思いますので皆様ご協力よろしくお願いいたします。

PTA会報誌『さくら25号』の発行並びに新年度に当たり、一言ご挨拶申し上げます。

さて、始業式・入学式より一月が過ぎ学校生活にも慣れてきたころと思います、今年は元号も『平成』から『令和』になり、みんな「時代が変わり何か変化が起きるのでは？」と期待していると思います。中学校でも国の『部活動の在り方に関する総合的なガイドライン』に基づき『部活動ガイドライン』を策定して部活動に運用するようです。中学校のホームページのメニューに『部活動ガイドライン』の項目がありますので一読してみてください。

まだ始まったばかりで『ガイドライン』の運用の良いところも悪いところも分かりませんが中学校で変化が起きていると思います。私自身どのように関わられるかわかりませんが子供たちが笑顔で学校生活を送れるように精一杯取り組みたいと思いますので一年間ご支援ご協力よろしくお願い致します。



「中学校生活をより充実したものにするために」

神河中学校長 楠田 敏彦

今年のゴールデンウィークは10連休で、その間には各部で様々な大会が行われました。私は時間が許す限りそれぞれの部の応援に行くことにしています。部活動の試合というものは、皆さんが日頃一生懸命に練習してきた成果が問われるテストのようなものなので応援せずにはられません。

今回の試合では、自分が望むような結果が出た人はごく一握りで、大半の皆さんは非常に厳しい結果でした。果敢に勝負に挑むのだけれども、そこには相手のスピードについていけない自分、相手のパワーに全く歯が立たない自分、相手のテクニックに太刀打ちできない自分がありました。非常に悔しいことです。しかしそれが現実なのです。それが今の自分の実力です。それが今の自分たちのチーム力なのです。この悔しい経験をした後に、自分自身の身の振り方をどうするかでその人の真価が問われます。自分にとってあまり好ましくないマイナスの出来事が起こった後、自分自身がどう考えてどう行動するかによってその後の部活動人生や試合結果が大きく変わっていくのです。ふがない負け方をしたからといって、「どうせ自分なんか…」とか「どうせ頑張っても…」と諦めてしまう生き方と、そのふがない負けを謙虚に受け入れ、今までの自分自身の部活動に対する取り組みを省みて、最後まで自分を信じ、少しでも高みを目指してひたむきに努力する生き方と二通りあります。これは何も部活動に限ったことではありません。勉強でも仕事でも仲間作りでも同じことが言えるのです。要は、自身の考え方が自身の生き方を決定するのです。私は神河中の皆さんには是非とも充実した部活動人生を歩んで欲しいと切に願っています。何かに打ち込むひたむきな姿ほど美しいものはありません。また、何かに打ち込んでいるときほど充実した日々を味わえることありません。みなさんが充実した中学校生活を謳歌できるよう、これからも応援し続けようと思っています。



新年度を迎えて

1学年主任 三輪 信之

はじめに、この「さくら」が発行される頃には入学から約2ヶ月が経っていることとなりますが、この原稿を書いているのは5月半ばで約1ヶ月半が経過しようとしている最中です。ご了承下さい。

さて、4月に入学してきた11回生ですが、10日間のゴールデンウィーク明けから部活動も始まり、本当の意味で「中学生」としての学校生活を送るようになっていきます。「部活動楽しい?!」という問いかけには「楽しい!」と元気な返事が返ってくる生徒が多いように思います。まだまだ始まったばかりで、これから厳しい練習内容や技術面での伸び悩みに直面することもあるかと思いますが、部活動を

通して「たくましい精神力」「忍耐力」を身につけ、3年生の引退の時期には「達成感」を味わえるよう取り組んでいってほしいものです。

話は変わりますが、2020年、オリンピックが行われる年を境に、日本の教育も大きく変わっていくのではないかとされています。今の段階でははっきりしたことは分かりませんが、間違いなく大学入試は変わります。11回生が高校入試を受検する年は2021年度になります。もしかすると、高校入試もこの時期には変わるかもしれません。そんな教育の変革期に高校、大学へ進学することになる11回生ですが、何がかわろうとも将来性を見据え、思考力・発想力を向上させ、幅広い「人間力」を身につけていく気持ちをしっかり持っていけば心配することはありません。常に目標意識を持ち、自分を見失わないよう前に進んでいってほしいと願うばかりです。私たち教員も、それを全面にサポートできればと考えています。

新しい時代を生き抜いていくことになる11回生。我々教員も生徒たちと共に学ぶ気持ちを大切に、保護者のみなさまともスクラムを組ませていただき、子どもたちの成長を共に支えていきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

中学生になって 1年生

1年生女子

中学生になって、頑張ろうと思ったことは3つあります。一つ目は、朝の起きる時間です。小学生の時は、6時半に起きれば、間に合ったけど、中学生になると、バスの時間があるので6時前に起きないと間に合わなくなるので頑張ろうと思います。

二つ目は、部活です。小学校では、クラブがあったけど、45分だけで、遊びみたいな感じだったけど、中学校では時間が長いし、厳しいし、朝練も始まるので大変だけど頑張りたいです。

三つ目は授業です。小学生と比べて授業の数も多くなるし、時間も5分長くなるので覚えることもたくさんありますが、しっかり話を聞いて、テストでも頑張りたいです。

小学校と変わったことが一つあります。それは、教室の数です。中学校はたくさん教室があるので早く覚えたいです。これからの3年間いろいろなことを頑張りたいです。

2年生女子

私は初めて代議委員になりました。クラスをしっかりとまとめられるようにがんばろうと思います。仲の

2年生になって

良い子もクラスに多くいるので、毎日すごくおもしろくて楽しいです。校外学習やトライやるウィークなど、進める側になることもあると思うけど、任された仕事は最後までがんばっていきます。

部活では後輩がたくさん入ってくれることを今は一番願っています。3年生6人、2年生3人なので3年生が卒業してしまうと、私たち2年生は3人です。3人以上は入ってくれないと試合はできないし、最後の大会も神河として出場できるのかはわかりません。部員をふやせるようにがんばろうと思います。それに私は足のけががあるし、みんなに追いつけていない状態です。早くなおして部活をがんばろうと思います。まだまだできていないこともあるし、3年生に頼ってしまうことがたくさんあるので、先輩にまかせずにどんどん自分からやっつけていこうと思います。がんばるぞ～!

勉強ではだんだんむずかしくなって頭を抱えてしまうときもあると思うけど、1年生で勉強してきたことも復習しつつ、2年生の勉強にも取り組んでいきたいと思っています。

一番楽しみにしているのはクラスで一つになってがんばる行事です。3年生と協力してすすめたり、2年生のみで頑張ることもあります。達成感をたくさんあじわえるように1年間がんばりたいです。

3年生になって

3年生男子

僕は今年、最高学年になりました。最初は自分が3年生になった実感が湧いてきませんでした。だけど、入学式や始業式で新入生が入ってきたり、先生方に受験の話がされて少しずつ実感が湧いてきました。

僕の今年の目標は、何でも全力で楽しんで取り組むというものです。なぜこの目標かというと、定期テストや1、2年生の時の行事では、いつももっと勉強しておけばよかったなとか、もう少し前からちゃんと練習しておけばよかったなとか後悔が残りました。だから今年は同じ失敗は繰り返さないように今までより全力で定期テストも、行事にも取り組もうと思います。

あと一つは、楽しむというものです。例えば、何か大きな壁にぶつかると思ったときに、嫌々とか苦しいとかそういう感情は誰にでも湧いてくると思います。しかし、その苦しみの中に自分で楽しみを見つけることができたらどうせ同じことをするのもそっちの方がいいと思います。今年は受験があります。その時も楽しんで試練と闘おうと思います。

部活動でも今年が最後となります。僕がキャプテンになったときは、みんなの気持ちが一つになっていませんでした。好きなことをしたりとか、遅刻しても平気になっている子がいたりしていました。その状況を見て、僕はキャプテンとしてみんなをまとめられているのか不安になっていき、部活が楽しくないときもありました。それでもやっぱり周りの人間を変えるにはまず自分が変わるべきだと気づきました。それからは、部活終わりの戸締まりやボール拾い、放課後は早めに来て練習をしたりとか、まず、自分が努力しました。すると、周りも変わってくれて、今では部活



「新年度を迎えて」

藤原 由勝

早いもので息子も今年から中学三年生になりました。初めて自転車で寺前まで通うことになり、心配になりこっそり神河中学校までの道のりを車で見に行った事がまるで昨日のこのように思い出されます。

これまでの二年間を振り返ってみると、先ずは部活動では野球部に入部し、下手ながらも楽しんで取り組み、沢山の友達を作り、交友関係を築けた事と、小学生まではぼっちゃり体形でしたが、厳しい練習のおかげで、若干スリムになったのは、大変良いことだったと思います。

そして、私が一番驚いたのは息子が生徒会に立候補していたことです。家の中ではのほほんとして、自己主張をしない息子がその様な事に興味があるとは思いませんでした。行事の際に挨拶をする姿をケーブルテレビ等で見たり、生徒会活動で使う資料を作成したりする姿を見ると、幼少期の泣き虫な姿とは全く違う成長した姿を見ることが出来、とても感慨深いものがあります。

数カ月も経てば高校受験という人生最初の決断をすることになります。この一大事に彼はまた新たな一面を見せて私を驚かせてくれるのか、はたまた今までどおりで私をやきもきさせるのか。そして、この初決断の時、息子に父として新たな一面を見せられるのか、いつもどおりと思われるのか。お互い男同士の勝負の年となりそうです。



「新年度を迎えて」

坂本 淳哉

長男が中学校に入学してから早いもので3年目を迎えました。今までの学校生活は、勉強中心ではなく部活動中心に過ごしてきたと思います。そんな部活動も残り2カ月余りとなり彼は何を思い、何を感じているのでしょうか。

昨夏の新チームになってからは、キャプテンという立場になり、親としては大丈夫かなと思いつつも静かに見守っておりました。入学当初に長男には「自分の意思を強く持ち、自分で状況に応じていい判断ができるように」と伝えていました。その事がわかっていたかどうかはわかりませんが、

1年の時やキャプテンになる前と後では言動に少しずつ変化が出てきているようにも感じました。

まだまだ物足りなさは有りますが、3年になる頃には先生方からキャプテンとして言いにくい事も言えてきたり、以前よりしっかりしてきたと聞かせて頂き、少しは成長したのかなと嬉しく思いました。残りの部活動生活を悔いないよう精一杯、取り組んで欲しいです。

部活動を引退すると、いよいよ受験という大仕事が待っています。受験もそうですが、これからの人生、自分でしっかり目標を立て決断しなくてはいけない機会が増えていくと思います。その中で、友人、先生やいろいろな立場の大人そして家族の話に耳を傾けて、いい判断するためのヒントを掴むきっかけにして欲しいと思います。

中学校最後の今年一年は、さまざまな学校行事を楽しみながら受験に向けて悔いのないよう学校生活を送って欲しいです。私も家庭やPTA活動を通してサポートしていきたいと思っています。



「新年度を迎えて」

藤田ゆかり

この度、役員をさせていただくことになりました藤田です。

年号が平成から令和に変わり、長い十連休のゴールデンウィークも終わり、少し生活のリズムも整い始めている頃かと思っています。

我が家の長女も神河中学校に入学し、早いもので三年目を迎えました。時間が過ぎるのは本当に早いとしみじみと感じています。今回の新年度は中学三年生ということで、とても大事な年であり、中学生最後の年です。充実した一年を送ってほしいと切に願うばかりです。

新年度を迎えると、いつも思うことがあります。それは、新年度を迎えて学校生活は大丈夫だろうか、クラスメイトとは仲良くできているだろうか、部活動は順調にできているのだろうか、色々心配になります。でも、子どもは親の心配をよそに柔軟に対応し、逞しく育ってくれていると思います。反対に、私の方が柔軟に対応するのが苦手で、子どもたちを見習わないといけないと思うことがたくさんあります。

子どもたちがいて、正直、大変なことがかぞえきれない程たくさんありますが、子どもたちがいてくれるおかげで経験できていることもたくさんあると思います。これから先も怪我、病気、その他色々気になることはありますが、一日一日を大切にして過ごしていって欲しいと思います。

私にとってはじめての中学校PTA役員となり、何もかもが初めてでわからないことが多くご迷惑をかけることもあると思いますが、一生懸命頑張りますので、一年間よろしくお願ひします。